



南浦和中だより



第4号
平成29年6月30日(金)
さいたま市立南浦和中学校
さいたま市南区辻6-1-33
TEL 048-863-0753
さわやか相談室 直通
TEL 048-837-5909

《学校教育目標》 日に新た 心豊かに たくましく



「よりよい判断のできる人へ」

ましこ けいじ
校長 益子 慶次

いよいよ夏休みまで、20日余りとなりました。1学期を振り返ってどうでしたか。1年生は、中学校生活にも慣れ、勉強・部活にと頑張れましたか。また、2年生は、3年生の代わりに部活動や委員会活動の中心となって活動していく心構えはできましたか。3年生は、いよいよ進路選択・決定と受験に向かって頑張り始めていることでしょう。

夏休みは、時間を知らせるチャイムがありません。基本的に、間違いを指摘してくれる先生もいません。課題を指示する係もいません。自分の裁量で、自分で一日を律することになります。しかし、自分でやる勉強はなかなか取りかかりづらく、面倒で、すぐ飽きてしまうものです。いつも夏休みの終わりはつらい思いばかりではありませんか？

さて、皆さんはイソップ物語をご存じですか。紀元前6世紀、アイソポス(イソップ)が作ったとされ、動物その他の世界に仮託して人間生活の諸相を描いた古代ギリシャの寓話集です。有名な作品に「アリとキリギリス」「北風と太陽」「ウサギとカメ」などがあります。今回はそれらの作品の中から「ロバ売りの親子」を紹介します。



ある親子が、大事にしていたロバを引いて、町へ売りに行きました。通りかかった人が、「バカな親子だ、ロバに乗っていけばいいのに。」と、言ったので、子どもを乗せて、歩いていきました。すると、また、人が、「年寄りを歩かせて、元気な子どもが乗っているなんて、親不孝な子どもだ。」と、言ったので、今度は、親が乗っていくと、また、人が、「子どもを歩かせるなんて、かわいそうだ。」と、言ったので、困った親子は、どっちが乗ってもいろいろ言われるので、今度は、二人でロバに乗っていきました。すると、「ちっぽけなロバに、二人も乗って、重くてかわいそうだ。」と、言われました。そこで二人は、嫌がるロバを縛って、担いでいきました。そして、町の入口の橋の上へ来たら、ロバが暴れたので、担いでいられなくなり、落ちてしまいました。縛られたロバは、川の中へ沈んで、死んでしまいました。



というお話です。どう考えますか。

これは、他人の意見ばかり聞いて、それに左右されて主体性のない行動をとれば、時として、ひどい目に遭うという教訓を示している話なのです。

私たちの身の回りにも、他人の言うことを気にしすぎたり、他人の言いなりになったりしている人はいませんか。何も考えないで行動するのは問題外として、人の話を聞くことは大変大切なことですが、最後は自分の頭で考え、自分で判断できなければいけないのです。ぜひよりよい判断ができるよう訓練してみてください。夏休みは多少の失敗が許される最高の機会かもしれませんね。